

平成27年9月24日

飯田下伊那地域内企業 担当者 各位

(公財)南信州・飯田産業センター
理事長 牧野光朗

第16回EMCシンポジウム I I D A 2 0 1 5 のご案内

日頃は当センターの運営につきまして深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、別紙のとおり「第16回EMCシンポジウム I I D A 2 0 1 5 」を開催いたします。
第16回EMCシンポジウム I I D A 2 0 1 5 では、次世代技術と最近のEMC規制の動向について業界等で活躍されている方々をお招きし、講演をして頂きます。

なお、地元参加者の方は、講演会のみに参加の場合、1人 3,000円、講演会と交流会に参加の場合、1人 6,000円となります。下記申込書により10月13日までにFAX又はEメールにてお申し込みください。

また、参加費の納入につきましては、請求書をお送り致しますので、期限内に振込又は当日受付にて直接お支払いください。

※このシンポジウムでは、講演テキストは電子データでの配布とさせて頂いておりますので、各自紙への印刷又はノートパソコンをお持ち下さい。

申込先：〒395-0003

飯田市上郷別府3338-8 (公財)南信州・飯田産業センター
TEL 0265-52-1630 FAX 0265-21-3134
e-mail : iidaemc@isilip.com 担当：木下

EMCシンポジウム2015参加申込書 (地元企業参加者専用)

平成27年 月 日

(公財)南信州・飯田産業センター
理事長 牧野光朗 宛

会社名 _____
郵便番号 _____
住 所 _____
電話番号 _____
E-Mail _____
担当者名 _____

職 名	参加者氏名	講演	交流会	参加費用
				3,000円・6,000円
				3,000円・6,000円
				3,000円・6,000円

第16回EMCシンポジウム I I D A 2 0 1 5

～次世代技術と最近のEMC規制の動向～

開催期日 2015年10月22日(木) 13:00から
2015年10月23日(金) 15:00まで

会 場 シルクホテル 2階 錦の間 〒395-0083 長野県飯田市錦町1-10

(1日目) 10月22日(木) 13:00~19:50

開 会 式	13:00 ～ 13:10	開会あいさつ 本シンポジウムについて
-------------	---------------------	-----------------------

基 調 講 演	13:10 ～ 13:50	電波利用の現状と今後の課題 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課長 杉野 勲 無線通信技術の進展に伴い、通信サービスのみならず、例えば、ワイヤレス電力伝送システムの実用化が期待されているなど、様々な新しい分野で電波利用が拡大している。 新たな技術を導入して電波の利用を推進するとともに、誰もが電波を安心して利用できる環境を整備するための総務省の取組を紹介する。
------------------	---------------------	--

13:50 ~ 14:00 休憩

講 演 1	14:00 ～ 15:00	2016年スーパーハイビジョン試験放送に向けた設備開発状況 日本放送協会 技術局 スーパーハイビジョン開発部 部長 三谷 公二 NHKでは、スーパーハイビジョン(4K・8K)放送の早期普及に向けて総務省を中心にして策定された“ロードマップ”を踏まえ、2016年試験放送開始を目指し、コンテンツ制作から送出・送信、受信装置に至る8Kスーパーハイビジョン設備の開発・整備を進めている。 本講演では、試験放送開始に向け、佳境を迎えた設備整備の取組み状況を中心に、東京オリンピック・パラリンピックでの本格普及を目指す8Kスーパーハイビジョンを紹介する。
-------------	---------------------	---

15:00 ~ 15:10 休憩

講 演 2	15:10 ～ 16:10	航空機内における電子機器の使用制限緩和の動向 国立研究開発法人 電子航法研究所 上席研究員 米本 成人 本講演では、航空機内に乗客が持ち込む電波を発する電子機器について、その使用を許容するために必要となる航空機の性能評価手法について概説する。また、性能評価試験の結果に応じて、航空機内における電子機器の使用制限を緩和して運用している現状について紹介する。
-------------	---------------------	---

16:10 ~ 16:20 休憩

講 演 3	16:20 ～ 17:20	電動車両に関するEMC課題と対応 株式会社 本田技術研究所 四輪 R&D センター 第5技術開発室 第2ブロック 主任研究員 細田 正晴 地球温暖化など緊急の課題に対応するため、電動車両は年々増加の一途をたどっている。それに伴い、システムの進化と同時に、コンポーネント数の増大、また適用車種の多様化も生じ、電磁波の発生源は増大している。 結果として様々なEMCの課題が生じるため、その対応の内容と克服するための対応手段を研究開発している。本講演ではその一部の紹介をする。
-------------	---------------------	---

17:50~19:50 EMC技術情報交流会

(2日目) 10月23日(金) 8:50~15:00

講演 4	8:50 ~ 9:45	イミュニティ規格の最新動向 株式会社 東陽テクニカ 第2技術部第4課 IEC SC77B WG10 エキスパート 中村 哲也 近年技術の発展に伴って通信網の発達はさらに加速して、携帯電話など移動体通信の更なる普及、電源線通信の利用など、電子機器にとって新たな環境下にさらされる機会が増加しており、このような環境下においても正常動作する電子機器の普及が望まれている。本講演では、IEC SC77B の取り扱う新たなイミュニティ試験規格を中心に、連続波に対するイミュニティ国際規格の最新動向について解説する。
---------	-------------------	---

9:45 ~ 9:55 休憩

講演 5	9:55 ~ 10:50	欧州新指令への対応について インターテック ジャパン株式会社 EMC/テレコム事業部 小瀬村 英昭 昨年、新EMC指令、無線指令などが発効され、来年から順次適合させることが求められています。新指令への適合まで約半年、旧指令からの変更点、新指令へ対応する際に留意する点などについて紹介させていただきます。
---------	--------------------	---

10:50 ~ 11:00 休憩

講演 6	11:00 ~ 11:55	医療機器のEMCの現状と今後の課題 フクダ電子株式会社 EMCセンター センター長 平野 知 国内の医療機器EMC規制は、改正JIS への移行期間中で、国内市場をメインとする企業はその対応が迫られている。しかしながら、この改正JIS は最新の国際規格(IEC)より2版古く、日本における規制(規格)が国際的に遅延している状況である。本講演では、諸外国を含めた規制状況を認識し、国内企業が進むべき道を探る。
---------	---------------------	--

11:55 ~ 12:55 休憩

講演 7	12:55 ~ 13:50	医療機器のEMC国際規格の最新動向 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 EMCセンター センター長 石黒 信一 医療機器のEMC 国際規格IEC 60601-1-2 は、前版より大幅に改訂された第4版が、2014年2月に発行された。この第4版は安全規格である通則IEC 60601-1 の副通則(すなわち安全規格の一部)という側面を色濃く打ち出している。本講演では、この第4版の特徴を概説する。またIEC では、上記第4版とは別に、EMC性能試験としてIEC TR 60601-4-2の審議を進めているので、その最新の審議状況にも触れたい。
---------	---------------------	--

13:50 ~ 14:00 休憩

講演 8	14:00 ~ 14:55	I H調理器、ワイヤレス給電からの放射磁界シミュレーションとグランドプレーンの影響 パナソニック株式会社 解析センター 山本 竹志 I H調理器やワイヤレス給電などの設計では、シミュレーションによる放射磁界把握が非常に有用である。私たちは独自の解析手法を用いて、高周波磁界が金属に浸透するミリメートル以下の表皮深さと実際のEMI測定距離を同一モデルで解析することにより、コイルからの放射磁界を高精度に計算したので報告する。
---------	---------------------	---

閉 会 式	14:55 ~ 15:00	閉会あいさつ
-------------	---------------------	---------------